

「藍住町農業委員会の女性登用促進に向けた取り組みについて」

徳島県 藍住町農業委員会

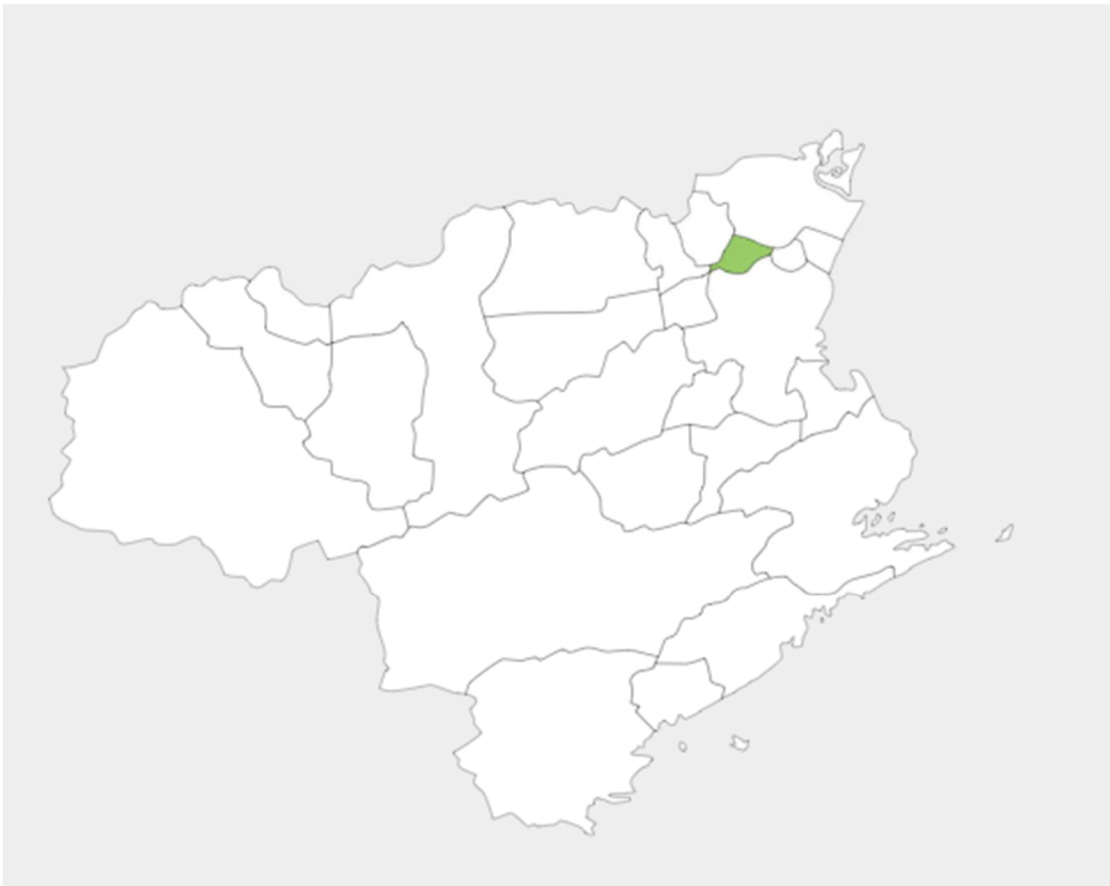
I 藍住町の概要

藍住町は、徳島県の中央を流れる吉野川の下流北岸に位置し、吉野川と旧吉野川に囲まれたデルタ地帯で、板野郡のほぼ中央にあります。

総面積 16.27 k m²、海拔は 5.17m と、平坦で山が全くない町です。肥沃温暖で水利の便が良く、古くは藍の栽培が隆盛を極め、現在では洋ニンジンの産地として広く知られています。

徳島市・鳴門市に隣接し、両市のベッドタウンとして人口が増加し、藍園・住吉両村の合併により藍住町ができた昭和 30 年 4 月は 10,544 人でしたが、令和 2 年 4 月には 35,257 人となっています。

かつては田園地帯が広がっていましたが、近年は宅地開発が進み、主要地方道徳島北環状線沿道を中心に大規模商業施設も立地しています。



II 藍住町の農業の概要

藍住町は、「春ニンジン」と言われる洋ニンジンの産地で、秋に種をまき、冬を越えて、春に収穫します。徳島県は3月から5月におけるニンジン生産量日本一を誇り、藍住町は県内有数の産地となっています。

徳島の春ニンジンは大規模トンネルで栽培し、雨にあたらない乾燥状態で生育します。甘くてやわらかいのが特長であることから、サラダやジュースなど生食にも適し、市場でも高い評価を得ています。

また、「愛住ねぎ」など新作物の開発にも取り組んでいます。



総農家戸数	508 戸
農家人口	690 人
経営耕地面積	515 ha
耕作放棄地	0.41 ha
認定農業者数	111 人
農業次世代人材投資資金対象者数	5 人

※農林業センサス（平成22年）

Ⅲ 農業委員会の現在の体制

改正農業委員会法による新体制が平成29年7月に誕生し、農業委員14人と農地利用最適化推進委員6人の合計20人で構成されています。事務局職員は専任職員1人と兼任職員2人の3人です。

	農業委員	最適化推進委員
委員数	14人	6人
認定農業者数	10人	5人
認定農業者に準じる数	2人	1人
女性数	4人	0人
50歳未満の青年農業者の人数	1人	2人
利害関係を有しない者の人数	2人	0人

※令和2年1月現在

農地法件数

3条	4条	5条	18条	非農地
14件	2件	33件	345件	6件

Ⅳ 藍住町の活動事例について

女性農業委員の登用要請活動

藍住町では平成26年の農業委員改選では女性委員が0人でした。同委員会では専業農家の割合が高く、これまで慣習による女性農業委員の登用が少ない状況でした

しかし、町の女性職員の管理職登用に向けた動きをきっかけに、女性農業委員の登用も進みました。

女性委員登用を進めるために現職の女性農業委員が地元の女性に声がけし、農業委員への登用を促しました。

平成29年の改選で2人、さらに令和2年には4人の女性農業委員が誕生しました。4人のうち2人が認定農業者、1人が中立委員、1人が認定農業者に準ずる者です。

県内2番目となる女性の農業委員会会長の誕生

女性会長の誕生にあたっては先代の農業委員会会長が尽力し「藍住町で女性会長を誕生させたい」と考え、前体制で安崎会長を副会長に抜擢し、準備を進め、県内で2番目となる女性の農業委員会会長が誕生しました。

◎藍住町農業委員会会長 安崎三代子さん



安崎三代子氏は経営面積 10ha の農地でニンジンやレストラン向けの野菜を 30 品目栽培する専業農家で、2 年前に農業法人「(株)あんちゃんふぁーむ」を設立しました。

従事者は家族 3 人と従業員 3 人、パート 3 人で、数年後には息子へ経営を継承する予定です。

また、安崎会長は洋ニンジンだけに頼らない経営を目指し、現在、御主人が会長を務める「新作物研究会」を立ち上げにも尽力しました。「新作物研究会」は、現在会員 40 人で、会の理念は「産地がないから産地を作る！産地がないから楽しみだ！ 先手必勝先んずれば産地を制す」。同研究会ではレストランや消費者に高付加価値で野菜を販売することに取り組んでいます。ユニークなネーミングの野菜である「おむすびだいこん」や苦みがなくても生で食べられる「こどもピーマン」などさまざまな野菜を作り、産地作りに取り組んでいます。

V その他の活動

徳島県内3市町で女性会長が誕生

県内の女性農業委員、農地利用最適化推進委員で組織する徳島県農業委員会女性協議会では、1委員会当たり3人の女性委員（農業委員・推進委員）を計72名登用することを目標に掲げました。そのため、各市町村町・議会議長に登用の要請活動を行い、平成29年で61名だった女性委員数は令和2年には69名（農業委員56名、農地利用最適化推進委員は13名）となりました。さらに鳴門市、吉野川市、藍住町で女性の農業委員会会長が3名誕生し、全国で最も多い女性会長の県となった。

これを受けて徳島県農業委員会女性協議会では、3人の農業委員会会長を含む7名で構成し、女性の視点を活かした事業展開を図る。



(左から)

徳島県農業委員会女性協議会副会長
吉野川市農業委員会会長 大久保光江さん

徳島県農業委員会女性協議会会長
鳴門市農業委員会会長 谷口清美さん

徳島県農業委員会女性協議会理事
藍住町農業委員会会長 安崎三代子さん